

## 三光電業

### 恒例の新春プライベートフェア

### 14社が製品・技術披露

800人が  
来場

【広島】制御と電子の総合商社、三光電業（広島市西区）は21、22の両日、工事中の新社で「新春プライベートフェア」を開催した。2日間で800人が来場。同フェアは24、25日に福岡（福岡市東区の三光電業福岡営業所）でも開催した。

同展示会は、新春恒例のイベント。森脇喜美代社長は「今年は珍しく天候に恵まれた。メーカー14社が出品し、最新の商品・新技術を余すところなく披露させていただいた」

と話す。メーカーのスタッフは、幹部と説明員を合わせて4日間で320人が携わる内容の濃いイベント。

西野浩一取締役営業本部長は「主要取り扱いメーカーとともに広島では11回目の開催。福岡では9回目の開催になる。19年の市場はこれまで以上にIoTはもちろん、AIも具体的なものとなってくると話す。IDECはセーフティレーザーキャナを出展。人の存在や侵入を検知することでロボ

ットなどの生産現場で威力を発揮する。日東工業は独立電源盤、FA用PCラック、宅配ボックスを出展した。

パナソニックはカメラ一体型ボディーの画像センサーや骨伝導ヘッドセット、頑丈タブレットなどを出展。三菱電機はFAトラック、ソリューションラックの3台を出展、様々なデモンストレーションを実施した。山洋電気は防水ファンを出展。他社にない防水性能をアピールした。東洋技研は新型スプリングロック端子台などを出展。SMCは電動アクチュエータのバリエーションを展示。初出展の富士電機は省工数機器・スプリング端子機器などを出展した。このほかの出展は、光洋電子工業、興和化成、富士端子工業、コーセル、ヘラマンタイトン、北川工業。恒例になったお好み焼き、ぜんざい、豚汁も大人気。お好み焼きは2日間で1500食が振る舞われた。



最新の商品・技術に来場者はじっくり説明を聞いていた



三菱電機はトラック3台でデモンストレーションを実施